中学２年　国語科　教材別テスト⑦　「盆土産」

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　「盆土産」（三浦哲郎）光村図書『国語２』　／　漢字・語句・助動詞

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．４）までです。全６ページです。
- 大問四は、**教科書『国語２』（光村図書）の「盆土産」を開いて**解答しなさい。
- この問題用紙には本文を載せていません。教科書の本文を読みながら答えなさい。
- 解答は、解答用紙（Ｐ．５～Ｐ．６）の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、①～⑩は漢字の読みをひらがなに直し、⑪～⑳はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、⑩・⑭・⑮・⑰・⑱**は送りがなも必要**なので、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 盆に墓参りをする。
② 仏壇に手を合わせる。
③ 線香のけむり。
④ 提灯をさげて歩く。
⑤ 冬場の出稼ぎ。
⑥ 夏休みに帰省する。
⑦ 渓流で魚をとる。
⑧ 唐突に話し出す。
⑨ 遠慮がちにうなずく。
⑩ 懐かしい声を聞く。
⑪ 父のこうぶつの料理。
⑫ 機械にあぶらをさす。
⑬ 池にこおりがはる。
⑭ 上着をぬぐ。
⑮ だまってうなずく。
⑯ なみだがこぼれる。
⑰ 駅で客をむかえる。
⑱ 父を駅までみおくる。
⑲ そせんをうやまう。
⑳ えがおを見せる。

二　次の問いに答えなさい。　2点×7＝14点

(1)「唐突」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　長い間、待ちつづけること。　　イ　前おきもなく、いきなりであること。

ウ　遠くはなれていること。　　エ　まわりに気をつかうこと。

(2)「気が気でない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　まったく関心がないこと。　　イ　心配や期待のあまり、じっとしていられないこと。

ウ　気が強くて、ゆずらないこと。　　エ　意識がはっきりしないこと。

(3)「目を細める」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　うれしそうに、にこやかな表情になること。　　イ　目が悪くなって見えにくくなること。

ウ　きびしくにらみつけること。　　エ　ねむたくなること。

(4)「ほおばる」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　少しずつ、味わって食べること。　　イ　食べ物を口いっぱいに入れること。

ウ　食べ残してしまうこと。　　エ　人にすすめて食べさせること。

(5)「期待」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(6)「故郷」とほぼ同じ意味を表す**類義語**を、漢字二字で書きなさい。

(7)「土産」のように、漢字二字で**特別な読み方（熟字訓）**をする熟語を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　田舎　　イ　旅行　　ウ　荷物　　エ　包装

三　次の――線部の**助動詞の意味・用法**を、後の【語群】から一つずつ選び、**言葉**で答えなさい。　2点×8＝16点

(1) 帰りがおそいので、姉に笑われる。

(2) 明日は、朝早く起きられる。

(3) 古いアルバムを見ると、昔のことが思い出される。

(4) 先生が教室に入られる。

(5) 父は、今夜おそく帰るそうだ。

(6) 今にも雨が降りそうだ。

(7) えびのしっぽは、小さな羽のようだ。

(8) 弟に荷物を持たせる。

【語群】　受け身　・　可能　・　自発　・　尊敬　・　推定　・　比喩（たとえ）　・　様態　・　伝聞　・　過去　・　完了　・　存続　・　打ち消し　・　意志　・　推量　・　勧誘　・　使

役　・　希望

※　語群の言葉は、一度しか使わないものも、まったく使わないものもあります。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語２』（光村図書）の「盆土産」を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）この作品が、小学生である「少年」の目と心を通して語られていることには、どのような効果があるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア　大人になった語り手が、当時の社会のしくみを冷静に分析して説明できる。

イ　家族の様子や出来事が、少年の素直な驚きや喜びとともに、生き生きと伝わってくる。

ウ　語り手が物語の外から、登場人物すべての心の中をくわしく説明できる。

エ　父の立場から語られるため、出稼ぎの苦労が作品の中心になる。

（２）少年の家族の状況として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア　両親と姉との四人で、村で暮らしている。

イ　父母はそろっているが、少年だけが祖母にあずけられている。

ウ　祖母と姉との三人で暮らしていて、父は東京で働いている。

エ　家族全員が都会へ移り住み、盆だけ村へ帰ってくる。

（３）盆に帰ってくる父を待つ場面で、少年はどのような気持ちでいるか。「**〜気持ち。**」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。 5点

（４）父が土産に持ち帰った「えびフライ」は、どのようなものとして描かれているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア　都会から持ち帰られた、当時の村ではめずらしく、ごちそうだった食べ物。

イ　村の店でいつでも買える、ありふれた食べ物。

ウ　少年がきらいで、どうしても食べたくなかった食べ物。

エ　祖母が得意で、家でよく作っていた料理。

（５）家族が「えびフライ」という言葉をうまく言えず、言いかえたりくり返したりする場面には、どのような効果があるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア　物語の進み方をおそくして、緊張感を高める効果。

イ　登場人物の知識のなさを笑い物にする効果。

ウ　父が村の暮らしを見下していることを示す効果。

エ　聞きなれない食べ物にとまどう家族の様子を通して、笑いを誘うと同時に、ささやかな暮らしぶりを感じさせる効果。

（６）えびフライを前にした祖母が「歯がねえのに」ともらす場面からは、どのようなことが感じられるか。「**〜こと。**」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。 5点

四　（つづき）

（7）えびフライを仏壇に供えたのはなぜだと考えられるか。「**〜ため。**」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［5点］

（8）父が帰っていく別れの場面で、少年が思わず「えびフライ。」と口にしてしまったのはなぜか。そのときの少年の気持ちを、**三十字以上四十字以内**で書きなさい。［7点］

（9）この作品で、東北地方の方言が多く用いられていることの効果として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　登場人物が学校に通っていないことを示している。

イ　その土地の暮らしぶりや家族のあたたかさが、実感をもって伝わってくる。

ウ　読みにくくすることで、読者に時間をかけて読ませようとしている。

エ　作品の舞台が遠い外国であることを示している。

（10）題名「盆土産」が象徴しているものとして、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　都会の豊かさに対する、村の暮らしのまずしさ。

イ　父が都会で成功し、豊かになったことの証。

ウ　離れて暮らす父と家族とを結ぶ、ささやかで確かなつながりの証。

エ　盆という行事の古い習わしを守ろうとする気持ち。

（11）次のア〜オの文のうち、慣用句が正しい意味で使われているものを**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［4点］

ア　合格の知らせを聞いて、肩の荷が下りた。

イ　発表会を前に、足が棒になって何も話せなかった。

ウ　兄の見事な演奏に、わたしは舌を巻いた。

エ　かぜで寝込んだ友人の話に、取りつく島もなかった。

オ　母は忙しくて、猫の手も借りたいほどだった。

（12）この作品では、家族の愛情がどのように描かれているか。**四十字以上五十字以内**で書きなさい。［6点］

解答用紙①　知識・技能

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑦「盆土産」（三浦哲郎）

２年	組	番	氏名

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　助動詞の 意味・用法 （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※　大問三は、【語群】の言葉をそのまま書き写して答えなさい（記号ではありません）。

解答用紙②　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑦「盆土産」（三浦哲郎）

２年	組	番	氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「盆土産」の読解（50点）	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)		(5)	
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)		(10)	
	(11)			
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（３）（６）（７）は25～35字、（８）は30～40字、(12）は40～50字です。（３）は「～気持ち。」、（６）は「～こと。」、（７）は「～ため。」の形で結びます。(11）は完答です。